

稲戸井調節池整備・活用検討懇談会

設立趣旨

利根川は日本一の大河であり、首都圏における「治水・利水・環境」など、人々の生活において最も重要性が高い河川です。

『稲戸井調節池』は、その利根川の鬼怒川合流点下流左岸に位置し、上流の菅生調節池、対岸の田中調節池と一体となり洪水を一時貯留することにより、利根川下流部への洪水流量負荷の軽減を図る重要な施設として、現在、平成19年度の調節池化概成に向け整備中ではありますが、利根川の治水効果向上の為には、今後も調節池機能の増強のため池内掘削等の各種整備が必要であり、整備に伴う池内状況（環境、利用等）の変化も考えられます。

このため、稲戸井調節池の「治水」「利水」「環境」及び「維持管理」等について、多様な御意見を伺う場として本懇談会を設置し、『利根川水系河川整備計画（仮称）』策定に向けた基礎資料とします。